

2019/2020 年度 第 6 回常任委員会 議事要録

日時: 2020/03/08(日) 14:00-16:15

会場: オンライン会議(ZOOM)

出席者(敬称略): 呑海(委員長), 上村(事務局長), 赤澤, 小山, 西脇(記録), 和知(以上, 常任), 青山, 野寄(以上, 通信常任)

議事:

次回の全国委員会について

記録は赤澤・西脇

開始を 30 分遅らせ 11 時開始とし, できるだけ短時間で終了する

ホワイトボード機能は小山委員が担当

出席者数は 11 時時点のアクセス数とする

報告事項

1.1. 小委員会・事務局

1.1.1. 全国大会小委員会 (担当: 赤澤小委員長)

[報告事項・資料なし]

1.1.2. 研究企画小委員会 (担当: 西脇小委員長)

1) DOC 進捗状況 [報告資料なし]

・学術基盤整備研究グループによるオンライン開催企画案「図書館業務に活かせるオンライン会議システムの利用事例(仮)」について報告があった。

1.1.3. 会報編集小委員会 (担当: 上村小委員長)

1) 編集作業進捗状況報告 [→報告資料 1]

・資料に基づき報告があった。

2) 『大学の図書館』の EBSCO 社データベースへの採録進捗報告[報告資料なし]

- 前回常任委員会より進捗なし。至急着手する。

1.1.4. 会誌編集小委員会 (担当: 和知小委員長)

1) 会誌 46 号進捗状況 [報告資料なし]

- 投稿のあった 2 件の論文のうち, 先に査読が終了し査読結果を回答した論文が, 2020 年 2 月 26 日に修正の上再提出された。現在, 3 月 6 日締切で再査読を依頼しているところである。
- もう 1 件については査読結果が割れたため, 第 3 査読者を立てた。査読結果を総合的に検討し, 査読結果を投稿者に通知し, 4 月 20 日を締切として再投稿を依頼した。46 号は再査読を依頼した論文に加えて, DOC2019 の記事と関東三地域グループ合同例会の記事を掲載して, 出来る限り早期の発行を目指す。

→46 号は次年度(2020 年 8 月)に刊行延期とする

1.1.5. 広報小委員会 (担当: 和知小委員長)

[報告事項・資料なし]→ウェブサイトは随時修正依頼することを確認した。

1.1.6. 五十周年記念事業記念出版物編集小委員会（担当: 呑海小委員長）

[報告資料なし]

- ・過去の支部にも執筆依頼を出す
- ・大図研全体の振り返りについては、各委員長・事務局長に執筆を依頼する。京都時代の執筆者については赤澤委員から確認する。

1.1.7. 五十周年記念事業海外図書館研修ツアー検討小委員会（担当: 呑海小委員長）

[報告資料なし]→研修ツアーの募集には 8 名の応募があった。

1.1.8. 五十周年記念事業シンボルマーク募集小委員会（担当: 和知小委員長）

[報告資料なし]→2020 年 2 月 27 日に 1 件の応募があった。

1.1.9. 事務局（担当: 上村事務局長）

1) 事務局業務進捗報告 [→報告資料なし]

- 2020 年 2 月 17 日(月)-2020 年 2 月 24 日(月) 2019/2020 年度第 5 回 常任委員会開催 →記録作成中。

2) 運営サポート会員の公募 [→報告資料なし]

- 応募者なし。

1.1.10. 事務局出版担当（担当: 市村委員）

1) 事務局出版担当報告 [→報告資料 2]

1.1.11. 事務局会計担当（担当: 上村事務局長・野寄委員）

1) 収支状況報告 [→報告資料 3]

1.1.12. 事務局会費徴収担当（担当: 赤澤委員・渡邊委員・長坂委員）

1) 会費納入状況 [報告事項・資料なし] →順調に進んでいる

2) 会費徴収口座出金状況 [報告事項・資料なし] →特段大きな問題はないと思われる。

3) 地域グループ別会費納入状況 [→報告資料 4]

1.1.13. 事務局組織担当（担当: 青山委員）

1) 会員現況報告 [→報告資料 5]

2) 会員情報悉皆調査 [報告資料なし]

- 前回常任委員会より進捗なし。至急着手する。

1.2. ワーキンググループ

1.2.1. 全国大会 WG（担当: 赤澤 WG 長）

[報告事項・資料なし] →今後の見通し:マニュアル作成を少しずつ進める

1.2.2. 出版・管理 WG（担当: 呑海 WG 長）

[報告資料なし]→各グループの意見を総合的に判断し、次回の全国委員会に案を提示する。

2. 審議事項

2.1. 第 5 回常任委員会議事要録確認（担当: 上村事務局長）

[審議資料なし]→メール審議のまとめ

2.2. 次回全国委員会の構成（担当：上村事務局長）

- 報告事項で特記すべき案件
- 審議事項
 - 第 51 回全国大会東京大会
 - ◇ 実施概要
 - ◇ スケジュール
 - ◇ 予算 参加者については、前回の東京大会(2011 年)実績138名を参考に、上方修正。8分科会でよいか。実行委員会費について、事前打ち合わせは行わないため 10 万円は不要ではないか→減らす(3 万に)。機器費について。
会議室数は、10 分科会に対応可 準備室は事務局部屋。
 - ◇ 分科会数及び担当者の決定(8か10か)。会場の収容人数や分科会担当者の人数によって次回の全国委員会で決定する。検討するにあたって根拠のある前提条件を出す必要があるため、場合分けして資料として準備する。
椅子のレンタル料と最大容量を確認。
 - 「大学図書館問題研究会誌」執筆要領の改定

2.3. 第 51 回全国大会(東京大会)実施概要(案)（担当：赤澤小委員長）

〔審議資料 1〕

→記念講演実施の意向については東京地域グループに確認する。

→記念式典は、会員以外も参加できるように、2回目のウェルカムガイダンスの後に。

委員長挨拶 5～10 分、五十周年記念事業報告各 10 分計 30 分、来賓なし、挨拶はベテランと若者の各 10 分で計55分、最大 60 分。記念講演か研究発表で調整する。企業協賛も例年通り。

2.4. 会誌 46 号の印刷製本先（担当：和知小委員長）

〔審議資料なし〕

- 会誌 46 号は例年通り、相見積をとることとなった。

2.5. 会誌 47 号以降の進め方について（担当：和知小委員長）

〔審議資料なし〕

- 和知小委員長からは会誌 46 号の発行大幅遅延の責任を取り、46 号が刊行され次第、会誌編集小委員会を退任したい旨、申し出があったが慰留され、継続することとなった。査読等の規程は整備したのと、47 号については原稿がある(投稿原稿 1 本、合同例会の記事 1 本)ので、次の担当はある程度の余裕を持ってことに当たることができると思う。
- 会誌への投稿は随時受付とし、各掲載号の提出期限を併記する。

2.6. 五十周年記念事業関連

1)シンボルマーク募集小委員会の進め方について（担当：和知小委員長）〔審議資料なし〕

2 月末の締切までに 1 件の応募があった。これを以て予備審査するか、あるいは、さらに募集期間を延長するかについて審議した。会員外からも募集して募集期間を再延長してはという意見もあったが、審議の結果、追加募集はせず、応募作品を採用候補として全国委員会に諮ることとした。

2) 海外図書館研修ツアー(担当: 呑海小委員長)

研修ツアーは予定通り応募者 6 名で実施する。引率の助成については予算内に収まるのであればよいとした。なお、最小敢行人数は 3 名とすることを検討する。

3) 大図研名称については、「大学図書館研究会」を全国委員会での提案とする。

4) 予算関係

・シンボルマーク関連支出:シンボルマークのブラッシュアップ7万円+賞金 2 万円
→9万円 (*ブラッシュアップを翌年度にまわすか?)

・海外図書館研修ツアー関連支出(参加者への助成) 6 人×3 万円=18 万円

・記念出版物関連支出:1500部発行

編集なし 541800 円/編集あり 636000 円 →編集ありとし、約64万円

その他、郵送料(140 円×1500=210000 円 →一般財政として次年度か?)

3. その他

3.1. 次回審議事項

・4 月常任委員会予定: 4/26(日)14 時～

3.2. 常任委員会オブザーバ募集

以上